

一緒にやれば社会は動く

平山前岩手大学学長が講演

INS「海洋と社会」研究会久慈支部（蒲野誠支部長）は7月4日、平山健一岩手大学前学長を招いて講演会を開催しました。平山前学長は、長年の経験と実績を踏まえ「企業、大学、行政が協力すれば社会が動く」と連携の必要性などを熱弁。約200人の参加者も熱心に耳を傾けていました。終了後、市の発展に協力してきた平山前学長に山内隆文市長が感謝状を贈呈。会場からも拍手を受け、平山前学長は満面の笑顔で喜んでいました。



山内市長から感謝状を受け笑顔を見せる平山前学長

「世界」の音色やっぱりきれい

有名演奏家によるフルートコンサートを開催

世界的に有名なフルート演奏者、工藤重典さんのコンサートは7月13日、アンバーホールで開かれました。美しく幻想的な音色で会場の空気は一変。緊張の演奏を終え、観客から拍手を受ける高校生約600人の観客は安らぎの時間を楽しみました。序盤に工藤さんと共演した大泉穂さん（久慈高2年）は「めったにないチャンスを味わえてうれしい。今まで聞いたことのないほど美しい音色だった」と、「世界」との共演に興奮していました。



緊張の演奏を終え、観客から拍手を受ける高校生

きれいな水への道案内

山根名水48泉の掲示板を設置

久慈東ロータリークラブ（熊谷正利会長）は7月9日、新山根温泉入り口に山根町の名水48泉を案内する掲示板を設置しました。除幕式では下嶽毅前会長が「あるのが当たり前になっている水や自然の大切さを多くの人に知ってほしい」とあいさつ。クラブの会員など約20人が見守る中、自然保護の願いが込められた掲示板が除幕されました。掲示板は会員の手作り。久慈の名水を守る会（杉下時男会長）の協力もあり完成しました。



関係者が見守る中、除幕された掲示板



コンサートではYaeさん（左）の透き通るような美しい歌声が会場に響きわたりました



生産者も消費者も一緒になって短角牛の良さを語り合った交流会



エリート牧場で短角牛にえさを与える参加者。初めて見る大きな牛にドキドキしながらも「はいお食べ」と手を差し出していました

世界的な大発見！久慈の地層はすごい！

琥珀採掘体験場からアドクスの化石を発見

土に埋まった化石を指差して説明する平山教授



久慈琥珀博物館（佐々木和久館長）の琥珀採掘体験場から大量のアドクスの化石が発見されました。アドクスとは約6,500万年前に絶滅した陸ガメ。2年前も甲羅の一部の化石が発見され話題になりましたが、今回はほぼ完全体の化石で、世界2例目、アジア初の貴重な発見です。

7月4日、現地を訪れたカメ化石研究の第一人者の平山廉早稲田大学教授は「こんな貴重なものが日本で発見されるとは」と、化石を前にしきりに興奮していました。平山教授は本格的に化石を調査するため8月中旬に再度訪れ、土に埋まった化石の切り出し作業をするとのこと。

同博物館は今年24日まで企画展「恐竜時代の大地・久慈」を開催。ワニやアンモナイトの化石などを展示しています。問い合わせは同博物館（☎59-3831）。

エコから生まれた幻想世界

キャンドルナイトを開催

ろうそくの灯で夜を過ごし、省エネの大切さや地球温暖化などの環境問題について考えるキャンドルナイト（久慈東ロータリークラブ、久慈青年会議所主催）は6月21日、やませ土風館で開かれました。会場にずらりと並んだ120個の灯ろう（夢灯かり）と、廃油を固めて作った500本の手作りキャンドルに火が灯されると会場の雰囲気は一変。「エコ」が作り出した幻想的な世界が広がりました。

会場ではフルートやギターを生演奏が行われたほか、地球環境を学ぶコーナーも設置。来場者はきれいな夜を楽しみながら、環境の大切さについて思いを巡らせていました。



手作りキャンドルの優しい光に親子でうっとり

短角牛と山形の魅力を実感

短角牛の消費者が生産者と交流

首都圏に住む短角牛の消費者が山形町を訪れ、生産者と交流する「短角牛の里と都市を結ぶ集い（同実行委員会主催）」は7月19日から21日まで開かれました。参加したのは食の安全をモットーとし食材の流通などを行なう「大地を守る会（藤田和芳会長）」の会員約50人。参加者は交流会で生産者と短角牛について語り合ったほか、カヌーや木工体験などを通して、山形の豊かな自然と生産者の熱意に触れました。初日の交流会には加藤登紀子さんの次女で歌手のYaeさんも参加。交流会前に行なわれたコンサートでは里山の魅力を伝えるトークを交えながら美しい歌声を披露しました。

20年ほど前から集いに参加しているという諸岡逸子さん（千葉県）は「何回来ても飽きない。短角牛はもちろん、生産者やこの里自体に魅力があるからだろう」と、ニコリと微笑んでいました。

シルバーパワーで盛り上がる

市シルバースポーツ大会を開催

市いきいきシルバースポーツ大会（市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会など主催）は7月4日、市民体育館で開かれました。

地区ごとに11チームに分かれた選手たちは、優勝を目指してボール送りリレーやゲートボールリレーなど各競技に奮闘。チームで声を掛け合いながら元気なプレーを見せていました。観客席の応援団も工夫を凝らして応援。会場が一体となって大会を盛り上げました。

優勝した長内チームのキャプテン向井曙夫さんは「みんなで力を合わせてプレーした。みんなで優勝の喜びを分かち合いたい」と笑顔を見せていました。そのほかの入賞チームは次のとおり◇準優勝…夏井◇3位…侍浜、山形◇応援優秀賞…大川目



「ほれ！いぐぞー！」と声を掛け合ったボール送りリレー